

業務実績報告書

提出日 2020年1月22日

1. 職名・氏名 准教授・柴田正輝

2. 学位 学位 博士(理学)、専門分野 古生物学、授与機関 東北大学、  
授与年月 H.30年3月

3. 教育活動

<b>(1)講義・演習・実験・実習</b>	
①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等	恐竜学(2)、古脊椎動物学実習(2)、地球生命史学(2)
②内容・ねらい(自由記述)	恐竜学:恐竜の生態・形態・進化を学習し、多様性を認識することで生物進化の一面を知る。 古脊椎動物学実習:恐竜研究までの過程を知る/地球生命史学:脊椎動物進化と環境変化
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫(自由記述)	恐竜学:最新の研究成果の紹介などを行うことで、恐竜像が研究の進展で変化することを伝えるようにしている。 古脊椎動物学実習:福井県の地の利を生かし、恐竜博物館で行っている。発掘調査に参加し、発掘方法を学ぶと共に地層の学習もする。また、館内では、展示標本の観察やスケッチ、クリーニング作業、レプリカ作りなど、研究所独自の課題を取り入れている。 地球生命史学:生物の変化(進化)について、地質学的な時間をかけて起こる変化と環境の関わりを伝えるようにし、身近なものとして捉えてもらいやすいようにしている。また、進化という科学的理論を理解させるように努める。
<b>(2)非常勤講師担当科目</b>	
① 担当科目名(単位数) 開講学校名 放送大学 恐竜を学ぶ(2コマ分)	
② 内容・ねらい(自由記述)	恐竜の基礎的知識を身に付け、恐竜がどのような生物であったのかをしる。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫(自由記述)	研究所が所蔵する標本に触れてもらい、五感をつかって化石の理解を促進する。
④ 本学における業務との関連性(自由記述)	恐竜学の普及というところで大いに関連性がある。
<b>(3)その他の教育活動</b>	
内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学連携セミナー「実践恐竜学」:座学と実習で構成される恐竜学(前期・後期)</li> <li>・ 御船町恐竜博物館(熊本県):トークショー(9月)</li> </ul>	
福井県立恐竜博物館における博物館セミナー、自然教室での講演や博物館活動、FBC ラジオ「いきいきセミナー」出演	

#### 4. 研究業績

<b>(1)研究業績の公表</b>
①論文 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所について)、掲載雑誌名(号数)、掲載(受理)年月日) Imai, T., Y. Azuma, S. Kawabe, <u>M. Shibata</u> , K. Miyata, M. Wang and Z. Zhou, 2019. An unusual bird (Theropoda, Avialae) from the Early Cretaceous of Japan suggests complex evolutionary history of basal birds. <i>Communications biology</i> , 2(1):1-11. →地質についておよび化石の同定 D. Chokchaloemwong, S. Hattori, E. Cuesta, P. Jintasakul, <u>M. Shibata</u> , Y. Azuma, 2019. A new carcharodontosaurian theropod (Dinosauria: Saurischia) from the Lower Cretaceous of Thailand, <i>PloS one</i> , 14(10). →地質の記載や化石の同定
②著書 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ)、出版年、出版社名)
③学会報告等 (タイトル、報告学会(大会)名(開催年月日)、共同報告者の有無(共同報告の場合は主たる担当箇所)) 今井拓哉, 東洋一, 河部壮一郎, <u>柴田正輝</u> , 宮田和周, M. Wang and Z. Zhou. 2019. 手取層群北谷層(前期白亜紀)から産出した基盤的鳥類: 系統的、古生物地理学的意義. 日本古生物学会 2019 年年会(静岡) <u>Shibata, M.</u> 2019. Iguanodontian dinosaurs of the Khok Kruat Formation, Nakhon Ratchasima. The International Symposium and Workshop "Advancing Paleontological Research and Specimen Conservation in Southeast Asia", Bangkok, Thailand.
④その他の公表実績
<b>(2)学会活動等</b>
学会でのコメンテーター、司会活動(担当報告名、担当学会(大会)名(開催年月日))
学会での役職など(学会名)
学会・分科会の開催運営(担当学会(大会)名(開催年月日)、開催場所)
<b>(3)研究会活動等</b>
①その他の研究活動参加(参加研究会名、調査活動名(期間)) ・ 福井県第4次恐竜化石調査: 勝山市北谷町(7月-9月初め) ・ ゴビ砂漠恐竜化石調査: 内モンゴル(9月) ・ タイ共同恐竜化石調査: ナコーン・ラチャシーマ他(11-12月)
②その活動による成果 ・
<b>(4)外部資金・競争的資金獲得実績</b>
・ ゴビ砂漠恐竜化石調査(読売新聞など)
<b>(5)特許出願</b>

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間）
②国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間）
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間）
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間）
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 （事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間）
⑥その他（名称、活動場所、活動期間）
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
①公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時）
②社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時）
③その他（名称、活動場所、活動期間）
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等） （活動内容、主たる活動場所、活動期間）

6. 大学の管理・運営

(1)役職 (副学長、部局長、学科長)
(職名、期間)
(2)委員会・チーム活動
(名称、期間) 教育研究委員会
(3)学内行事への参加
(行事名、参加日時)
(4)その他、自発的活動など
(活動名、活動内容、活動期間)